

## DX/IoTの本質と半導体

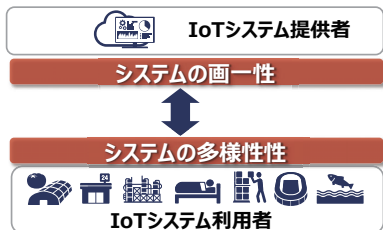
井上こうじ

九州大学大学院システム情報科学研究院 教授  
九州大学システムLSI研究センター長  
九州IoTコミュニティ 会長  
九大TLO My-IoT 事業企画センター長

## My-IoT

## 「IoT ギャップ」が普及を阻む!

### システムギャップの存在!



### 目的ギャップの存在!



IoTギャップを埋めようと努力するが・・・

- 提供者：待ち受けるのは POC (Proof Of Concept) 地獄!
- 利用者：コスト増、不透明なビジネスモデル、導入断念

## 「IoT ギャップ」を解消したい!

そもそも、解決すべき課題は「現場」にある!

そもそも、解決策探しは「現場」でしかできない!

残念にも、コストがかかる → IoT ギャップの存在

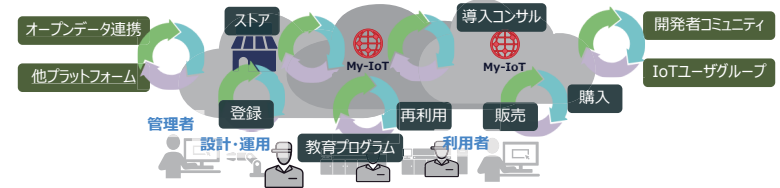
**「現場」で「IoTの構築と価値検証」ができる世界を!  
→そして IoT ギャップを解消する!**

# My-IoT コンソーシアム 68会員（64法人）：2022年9月12日時点



現場で生まれる、現場のための、IoTシステムを！

# My-IoTコンソーシアムが目指す世界



- ・自分で構築・価値検証し、自分の欲しいIoTを手に入れる!
- ・その経験・実績・成功/失敗談をみんなで共有する!
- ・これにより、新たなIoTが次々と誕生する!
- ・そして、新たなビジネスが創出される! (このサイクルを廻す)

## My-IoT コンソーシアムの狙い

### My-IoTプラットフォームとは?

- ・内閣府戦略的イノベーション創造プログラム（SIP）第2期で開発が進められているIoT開発プラットフォーム。九州大学とNECが主体となり、社会実装を前提としたIoTビジネス・エコシステム実現を目指して活動
- ・日本におけるIoT普及は一部の業種や業界に限られており、規模の小さい業種や法人、地方・地域などでは普及が進んでいるとは言えない。この課題を3つの視点から捉え、解決に資する活動として「My-IoTコンソーシアム」を設立。

### My-IoT = 自分(My)にとって最適なIoTシステム

#### 「My-IoT」の3つのコンセプト

##### 新しいビジネス創出と利用者共創の場

法人単独では難しい新しいビジネス創出を提供するユーザー相互支援型のコンソーシアム

##### 利用者視点の開発プラットフォーム

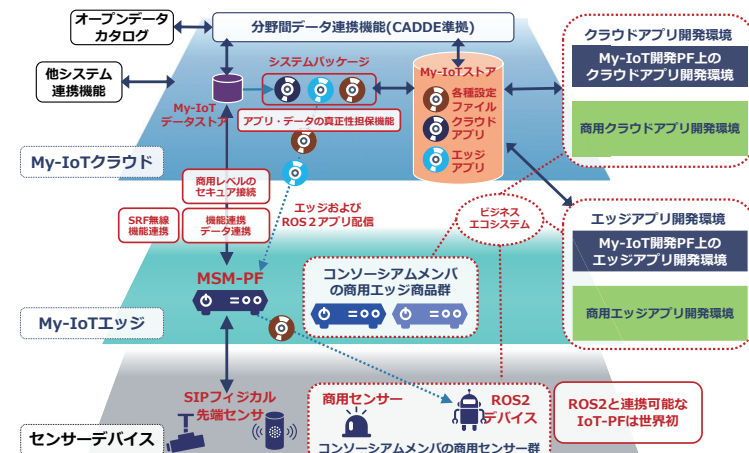
内閣府 戦略的イノベーションプログラム(SIP)で開発された「My-IoTプラットフォーム」

##### 大学・企業・開発者のマッチング

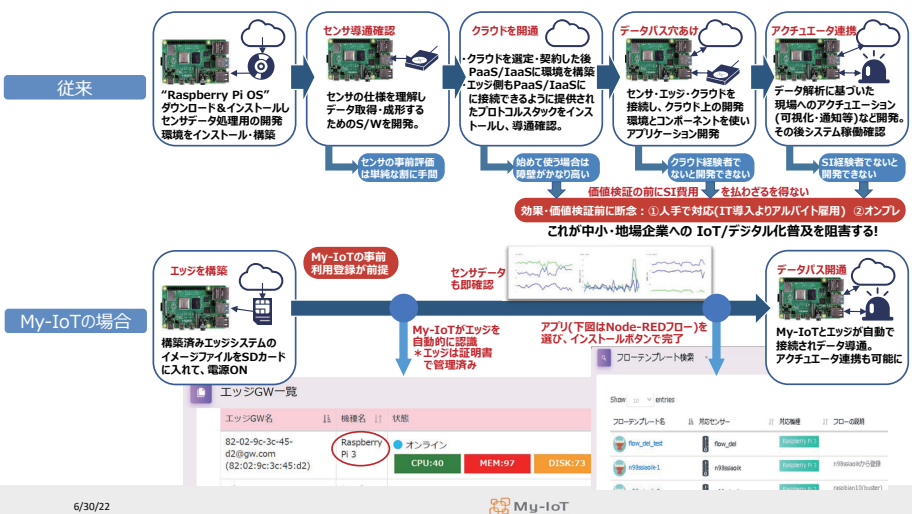
[企業の技術]と[大学の知]を融合し、全国の様々なIoT活動と繋ぎ、IoT化の潮流を創る

IoTシステム提供者とエンドユーザー間にある「IoTギャップ」を解決し、ビジネス視点でIoTの新しい価値を生むMy-IoTのエコシステム  
IoTシステム提供者が提供する既存のエッジを高度化し、エンドユーザーや利用者の使い方に最適化されたIoTシステム構築を目指す

## My-IoTプラットフォーム



### My-IoT プラットフォームの活用例 (利用者視点)



### My-IoTコンソーシアム・ホームページで公開中 →利用フィードバックに基づき随時改訂中

**My-IoT ユーザーマニュアル**

- はじめに
- 定義・略語
- 初期作業
- システム構築
- システム管理
- 開発者編
- アカウント管理
- テナント管理
- 公開データを利用する
- 契約事項
- トラブルシューティング

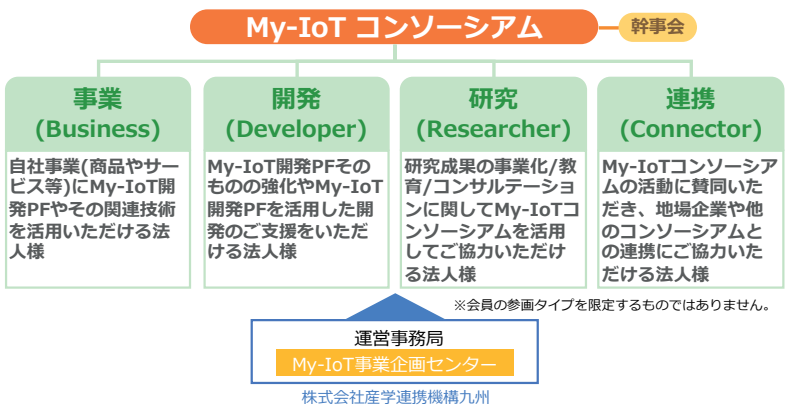
**My-IoT プラットフォーム仕様書**

「My-IoTプラットフォーム(以下、My-IoT)」とは、内閣府 戦略的イノベーション実証事業(SSIP)第2期で開発が進められているオープンなIoT開発プラットフォーム技術は、エッジとクラウドにアプリケーションを導入することで容易に利用可能にすることが可能です。

**アプリケーション開発を行う**

- 初めてMy-IoTのアプリケーション開発を行う場合は、My-IoTのプラットフォームと、アプリケーション開発についての概要を学ぶことをお勧めします。概要を開発ガイドを参照してアプリケーション開発の具体的な方法について学ぶことができます
- My-IoTプラットフォーム概要
  - My-IoTの全体の構成や仕組みについて学ぶことができます
- My-IoT開発概要
  - My-IoTにおけるアプリケーションの構成や仕組みについて学ぶことができます
- 開発ガイド
  - My-IoTにおけるアプリケーション開発の方法を学ぶことができます

### 誰が、どのような活動を展開しているのか?



### シンポジウム&ジョイントミーティング&月例ワークショップ

**電波新聞** <https://dempa-digital.com/article/237819>  
My-IoTコンソーシアムシンポジウムをオンライン開催

**電波新聞** <https://dempa-digital.com/article/315943>  
My-IoTコンソーシアム総会開催とプロジェクトの報告

**My-IoTコンソーシアム** <https://www.my-iot.jp> 会員限定  
2022年2月 月例ワークショップ&交流会 (後半部)

**月例ワークショップ&交流会**  
【アジェンダ】

- はじめに (新規参加者の方の自己紹介含む)
- 連絡事項など
- 会員様からの事業/活動の紹介
  - 株式会社ソート様 (20分程度)
  - カミエンス・テクノロジー株式会社様 (20分程度)
- 会員交流 (~17:30)

2021年11月 月例ワークショップ&交流会

**月例ワークショップ&交流会**  
【アジェンダ】

- はじめに (新規参加者の方の自己紹介含む)
- 連絡事項
- 会員様からの事業/活動の紹介
  - PicoCELA株式会社様 (20分程度)
  - マリクス株式会社様 (20分程度)
- 会員交流 (~17:30)

## DX

「X」は手段であり目的ではない

では目的は何なのか？

競争上の優位性を手に入れる！

皆さん、これまで「X」をやってきました！

情報



行動



インターネットにより「D化」された  
「情報」の量が格段に増えた！

情報



行動



しかし、他の「誰か」が提供してくれる「情報」でしかない・・・



競争上の優位性が手に入るのか？

環境や身の回りの「D化」により「身近でリアルな世界」の情報も入手できる！



「自分」が欲しい、「自分」の情報を、「自分」で獲得し、「自分」のXを！



皆さん、これまで「X」をやってきた！

情報→判断→行動

違いは「D化した情報の質と量とスピード」

大切（だが難しい）ことは・・・

競争上の優位性を手に入れるための

自分の「X」って何だろう？  
どんな「D」が必要なんだろう？

## 私なりの答え

自分で見いだすしかない！

そのために・・・

自分達でやってみる（試行錯誤する）、  
仲間をつくる、そして感覚を磨く

いきなり「ビジネス戦略を変革」でなくても良い、今できる「自分なりのDX」から

### DX/IoTの本質（私見）とMy-IoTコンソーシアムの意義

「モノ」を介して「ヒト」がつながり「コト」が生まれる

1. 様々な「モノ」が繋がり、付加価値を生み出すために、「ヒト」が繋がる
2. 様々な「ヒト」が集い、様々な「モノ」から新しい「コト」を生み出す
3. より多くの「ヒト」が集い、さらに新たな「モノ」と「コト」が生まれる

「ヒト」による「モノづくり×コトづくり」

（ビジネス視点での）

そのための場==My-IoTコンソーシアム